



# 鹿児島県内経済情勢報告

令和4年7月

財務省九州財務局  
鹿児島財務事務所

(問い合わせ先)

九州財務局 鹿児島財務事務所 財務課


TEL 099-226-6155

ホームページアドレス

<https://lfb.mof.go.jp/kyusyu/kagoshima/>

## 1. 総論

### 【総括判断】「県内経済は、緩やかに持ち直している」







項目	前回（4年4月判断）	今回（4年7月判断）	前回比較
総括判断	新型コロナウイルス感染症の影響がみられるものの、持ち直しつつある	緩やかに持ち直している	

（注）4年7月判断は、前回4月判断以降、7月に入ってから足下の状況までを含めた期間で判断している。

#### （判断の要点）

個人消費は、新型コロナウイルス感染症の影響が和らぐなかで、百貨店・スーパー販売や宿泊・観光関連を中心に緩やかに持ち直している。生産活動は、食料品工業などの一部に弱さがみられるものの、電子部品・デバイス工業を中心に緩やかに持ち直しつつある。雇用情勢は、緩やかに持ち直している。

#### 【各項目の判断】

項目	前回（4年4月判断）	今回（4年7月判断）	前回比較
個人消費	新型コロナウイルス感染症の影響がみられるものの、持ち直しつつある	緩やかに持ち直している	
生産活動	足踏みの状況にある	一部に弱さがみられるものの、緩やかに持ち直しつつある	
雇用情勢	緩やかに持ち直している	緩やかに持ち直している	
設備投資	3年度は減少見込み	4年度は増加見込み	
企業収益	3年度は増益見込み	4年度は増益見込み	
住宅建設	前年を下回っている	前年を上回っている	

#### 【先行き】

先行きについては、感染対策に万全を期し、経済社会活動の正常化が進むなかで、各種政策の効果もあって、持ち直していくことが期待される。ただし、ウクライナ情勢の長期化の影響などが懸念されるなかで、原材料価格の上昇や供給面での制約に加え、金融資本市場の変動等による下振れリスクに十分注意する必要がある。また、感染症による影響を注視する必要がある。

## 2. 各論

### ■ 個人消費 「緩やかに持ち直している」

「百貨店・スーパー販売」は、旅行需要の高まりにより衣料品に動きがみられるなど、持ち直している。「家電大型専門店販売」及び「ドラッグストア販売」は、引き続き堅調である。「コンビニエンスストア販売」は、旅行等の移動時に需要が高まる商品が好調である。「乗用車の新車販売」は、供給面での制約の影響が続いており、弱い動きとなっている。「宿泊者数」及び「主要観光施設入場者数」は、感染症の影響が和らぐなか、助成事業の効果などにより、持ち直している。

(主なヒアリング結果)

- 街全体に人流の回復がみられており、売上・客足は増加傾向にある。旅行用に洋服を買う人が増加したこともあり、衣料品の動きが良い。(百貨店・スーパー)
- 一部食料品で値上げの影響がみられるものの、引き続き高単価な食材が良く売れている。(百貨店・スーパー)
- 5月は季節商品の動きが鈍かったが、6月は湿度上昇の影響等からエアコンに動きがみられた。エネルギーコストの上昇が、省エネ性の高い家電への買い替え需要につながっている。(家電大型専門店)
- 行動制限の緩和に伴い、4月以降は行楽用品が伸びている。また、梅雨明けが早かったことから暑さ対策の家電や飲料等が好調である。(ホームセンター)
- 行楽需要を背景に、客足に戻りがみられた。また、巣ごもり需要で好調だった酒類やデザートから、おにぎりやサンドイッチといった移動の際に需要が高まる商品に売れ筋がシフトした。(コンビニエンスストア)
- 中国のロックダウンや半導体不足等による部品の供給制約が続いており、受注が販売台数につながらない状況は改善されていない。(自動車販売店)
- 感染症への警戒感が和らいだことから、GWの入場者数は前年の倍以上となった。県外客も多くみられるようになり、入場者数はコロナ禍前に近づきつつある。(県内観光施設)
- 団体客の戻りは鈍いものの、県の助成事業を利用した個人客が多数みられるなど回復基調にある。(県内宿泊施設)
- 3年ぶりに行動制限のないGWであったため、国内旅行を中心に前年の倍以上の予約があった。(旅行代理店)

### ■ 生産活動 「一部に弱さがみられるものの、緩やかに持ち直しつつある」

主な業種をみると、「電子部品・デバイス工業」は、半導体関連製品を中心に好調である。「食料品工業」は、サツマイモ基腐病の影響により焼酎などで弱い動きとなっている。

- ウクライナ情勢等不安定な状況が続いているものの、5Gや半導体関連市場の需要増に加え、EV化の加速等に伴い一部製品の受注増がみられるなど、生産水準は前年を上回っている。なお、工場ではフル稼働している生産ラインもある。(電子部品・デバイス工業)
- 生産に必要な部品が調達できず、工場を停止させるなど生産調整を行ってきたが、部品不足が解消されつつある。(その他製造業)
- 感染症の影響で業務用焼酎の売上が減少した状況が続いている。サツマイモ基腐病の影響で、生産水準は計画を大きく下回っている。(食料品工業)

### ■ 雇用情勢 「緩やかに持ち直している」

有効求人倍率は、緩やかに上昇している。新規求人数は、製造業、宿泊業・飲食サービス業、運輸・郵便業を中心に前年を上回っている。

- 4年5月の有効求人倍率(季節調整値)は1.36倍と、73か月連続で1倍台を維持。新規求人数は、感染症の影響を受けていた業種(宿泊・飲食サービス業)や従来から人手不足である業種(医療・福祉業、建設業)で前年を上回っている。(労働局)
- 5Gや半導体関連市場の需要増を背景に製造部門は人手不足が生じている。随時人材を募集しているが解消の見込みが立たない。(製造業)
- パート・アルバイトの人手不足から、店舗を開けたくても休業せざるを得ない状況である。(飲食サービス業)
- 配送車のドライバーが不足しており、数十人規模で求人を出しているが、応募が少ない状況が続いている。(運送業)

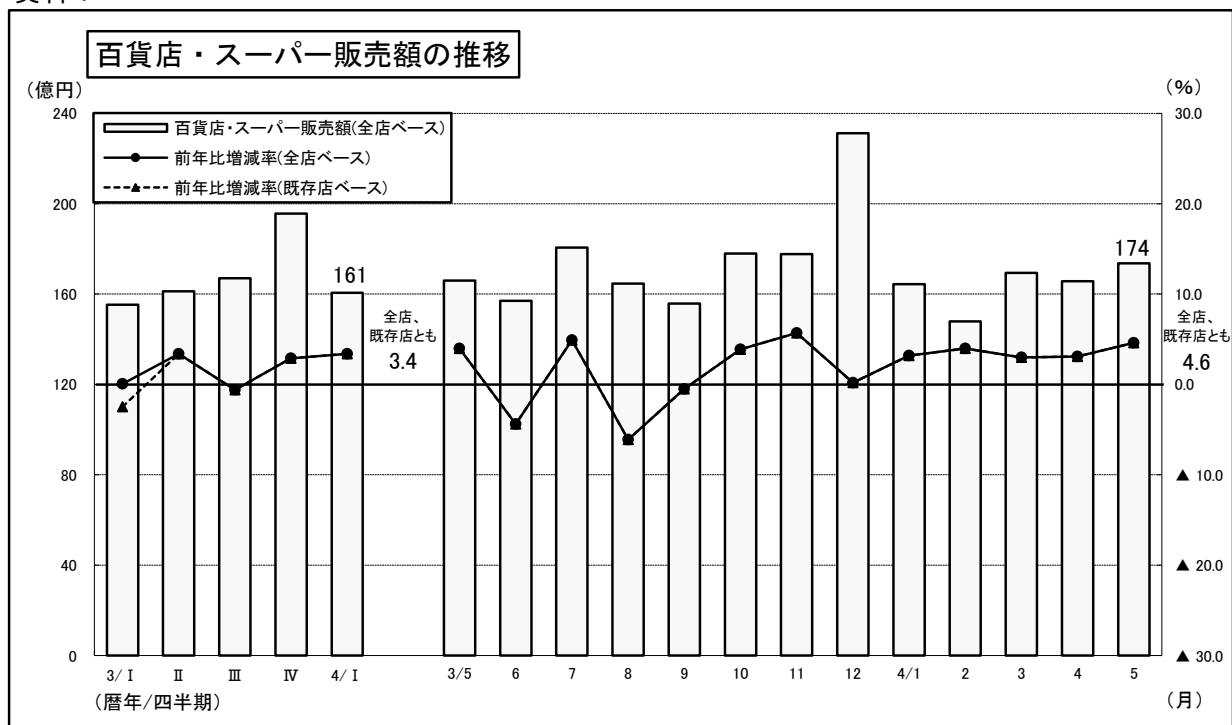
- 設備投資 「4年度は増加見込み」 (全産業) 「法人企業景気予測調査」4年4-6月期
  - 製造業、非製造業とも増加見込みとなっている。
- 企業収益 「4年度は増益見込み」 (全産業) 「法人企業景気予測調査」4年4-6月期
  - 製造業は増益見込み、非製造業は減益見込みとなっている。
- 企業の景況感 「現状判断は『下降』超」 (全産業) 「法人企業景気予測調査」4年4-6月期
  - 4年4-6月期の景況判断BSIをみると、全産業で「下降」超となっている。先行きをみると、4年7-9月期は「上昇」超の見通しとなっている。
- 住宅建設 「前年を上回っている」
  - 新設住宅着工戸数(4年3月-5月)は、前年を上回っている。
- 公共事業
  - 公共工事前払金保証統計の請負金額(4年4-6月累計)は、前年度並みとなっている。
- 倒産
  - 企業倒産(4年4-6月期)は、件数は前年を下回っており、負債金額は前年を上回っている。
- 農業(畜産物)
  - 和牛のと畜頭数は、3月から5月まで前年を下回っている。和牛の枝肉卸売価格は、3月から5月まで前年を下回っている。
  - 豚のと畜頭数は、3月から5月まで前年を下回っている。豚の枝肉卸売価格は、3月は前年を上回り、4月は前年を下回り、5月は前年を上回っている。
  - ブロイラーの処理羽数は、3月は前年を上回り、4月は前年を下回り、5月は前年を上回っている。もも肉の卸売価格は、3月から5月まで前年を下回っている。

## 【参 考 資 料】

1. 個人消費	参-1
2. 生産活動	参-4
3. 雇用情勢	参-6
4. 設備投資	参-7
5. 企業収益	参-8
6. 企業の景況感	参-9
7. 住宅建設	参-10
8. 公共事業	参-11
9. 倒産	参-12
10. 農業(畜産物)	参-13

# 1. 個人消費

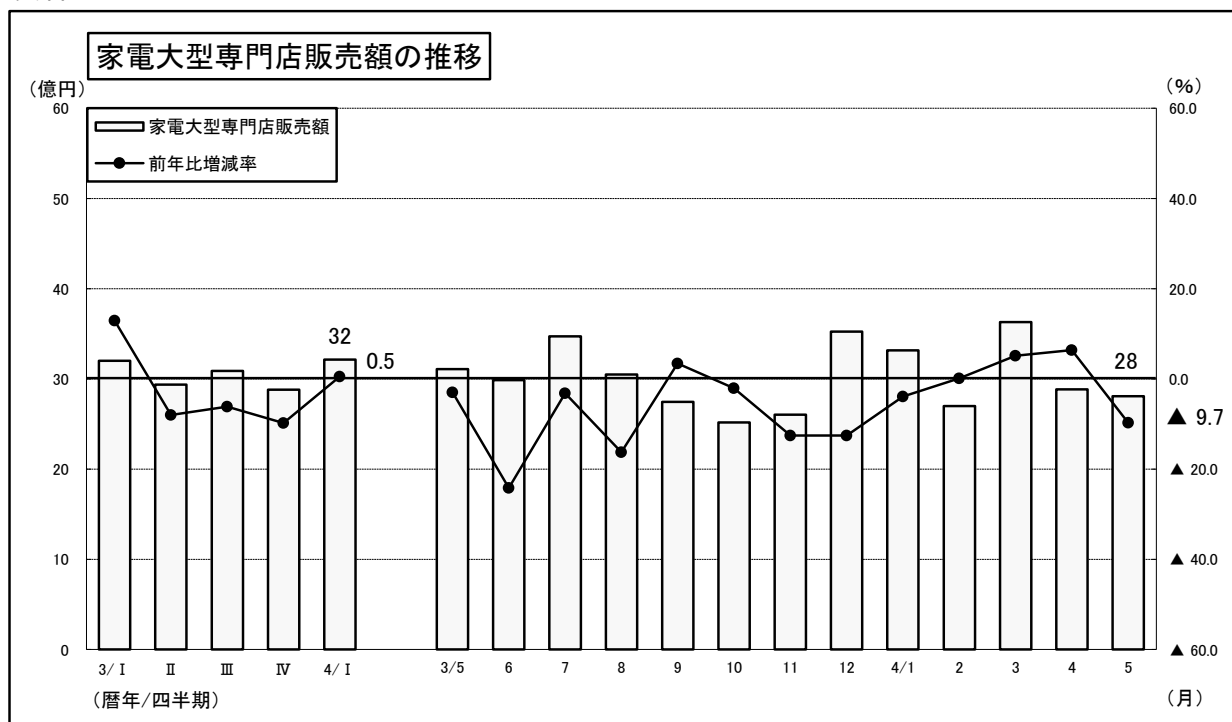
資料 1



注：四半期の棒グラフは月平均。

(資料：経済産業省)

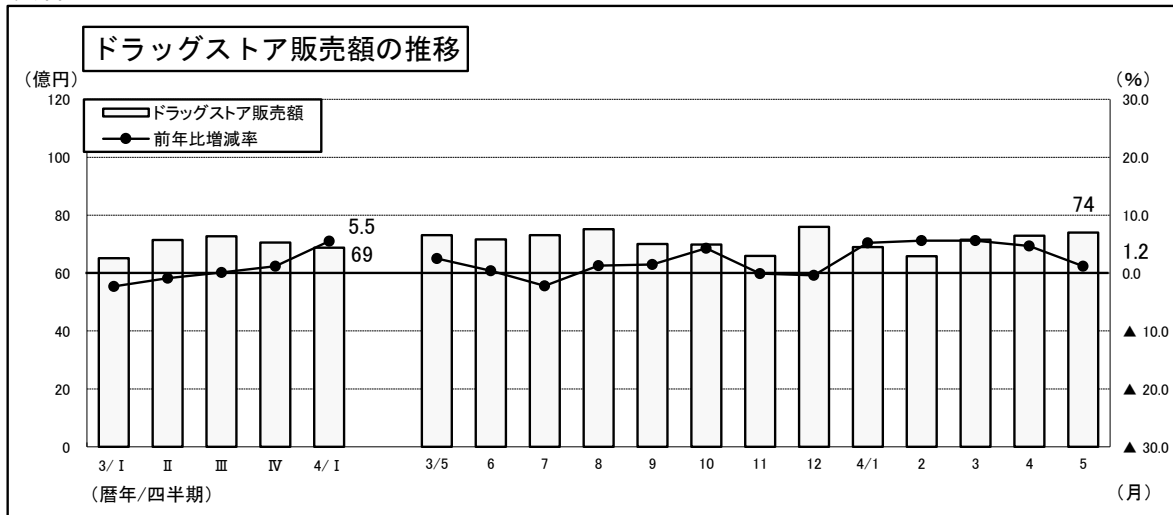
資料 2



注：四半期の棒グラフは月平均。

(資料：経済産業省)

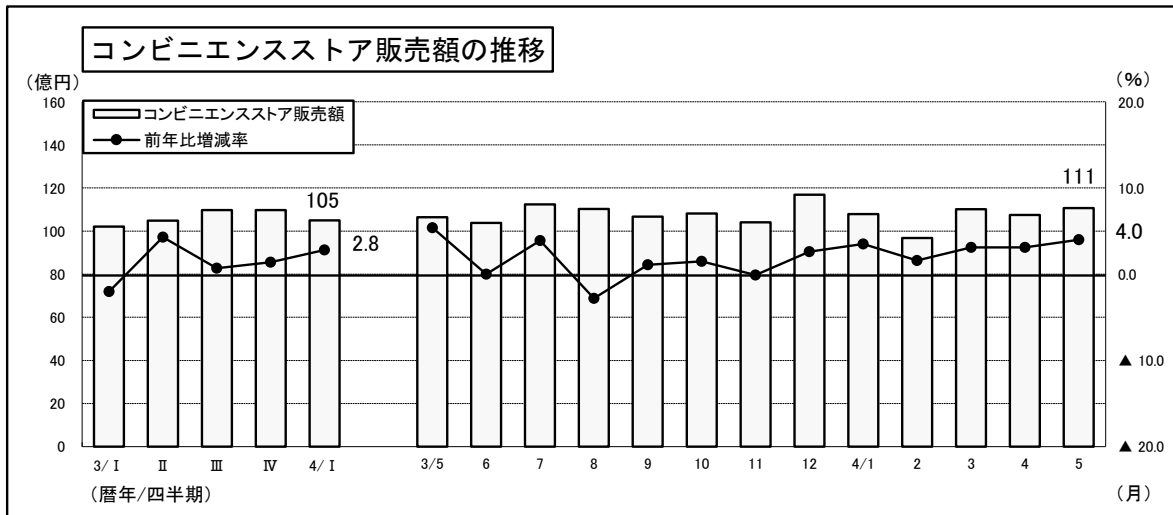
資料3



注：四半期の棒グラフは月平均。

(資料：経済産業省)

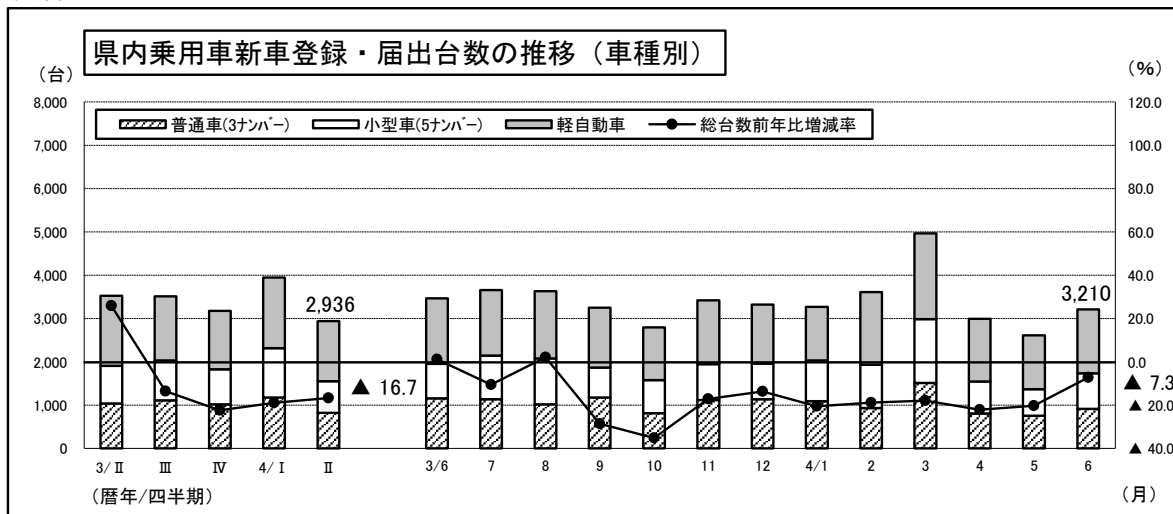
資料4



注：四半期の棒グラフは月平均。

(資料：経済産業省)

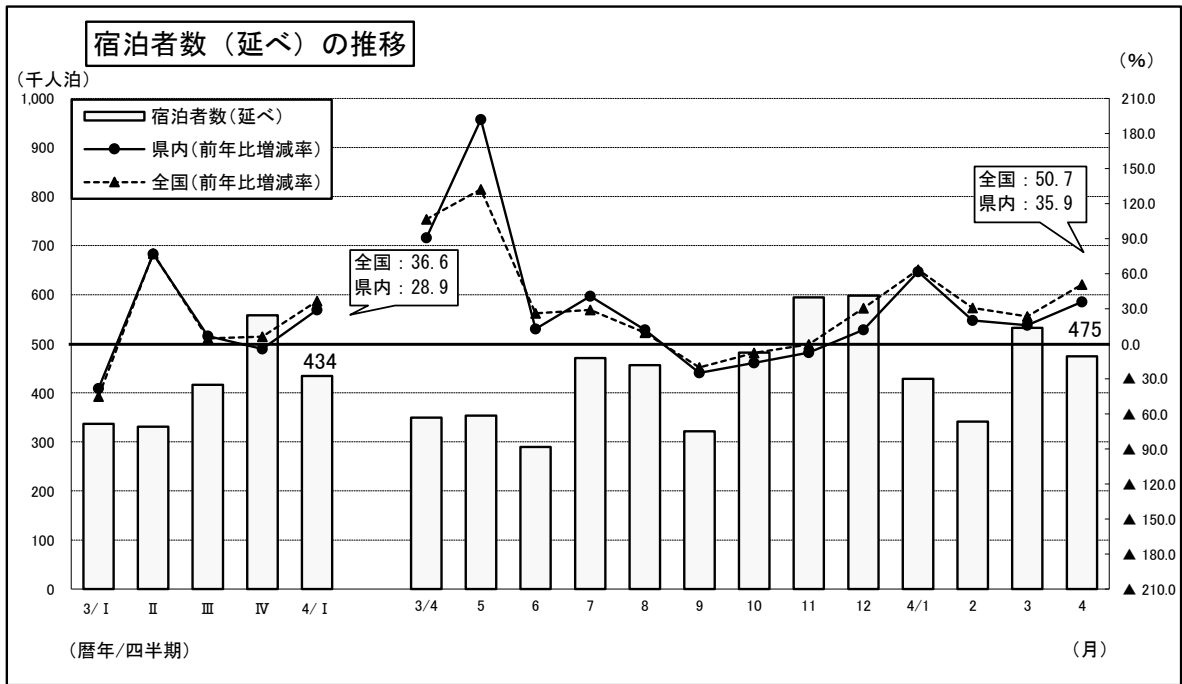
資料5



注：四半期の棒グラフは月平均。

(資料：国土交通省、全国軽自動車協会連合会)

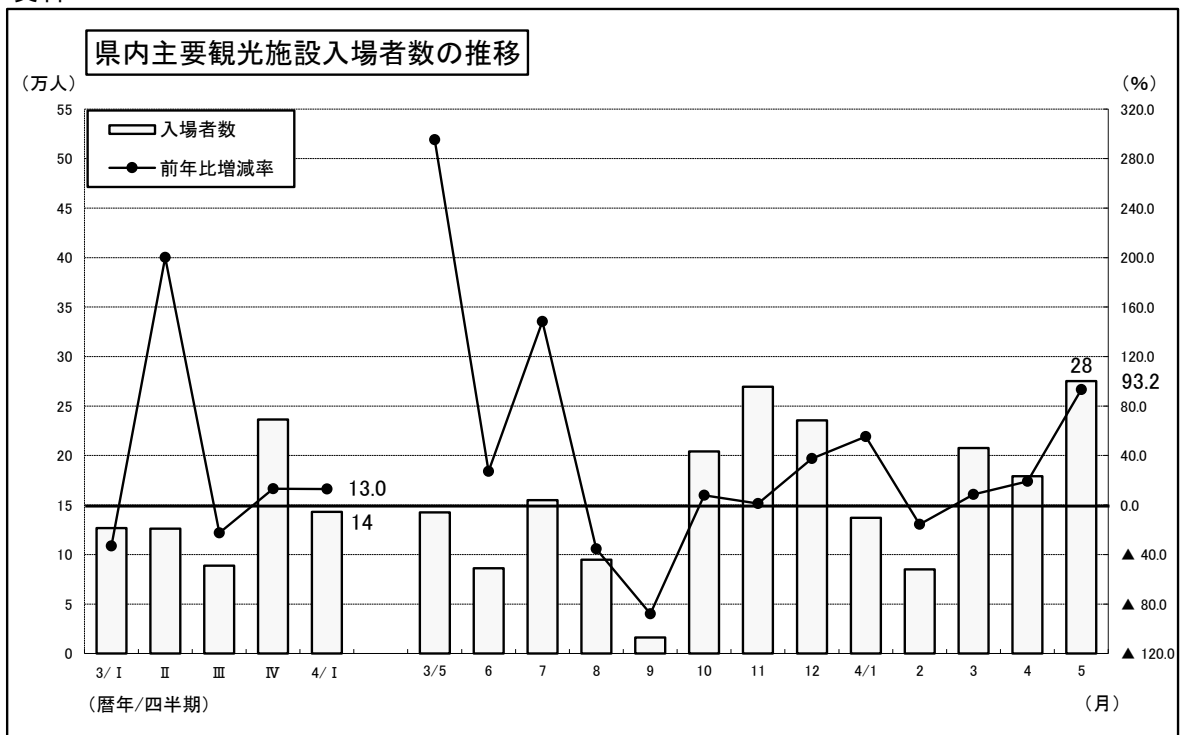
資料 6



注：四半期の棒グラフは月平均。

(資料：観光庁)

資料 7



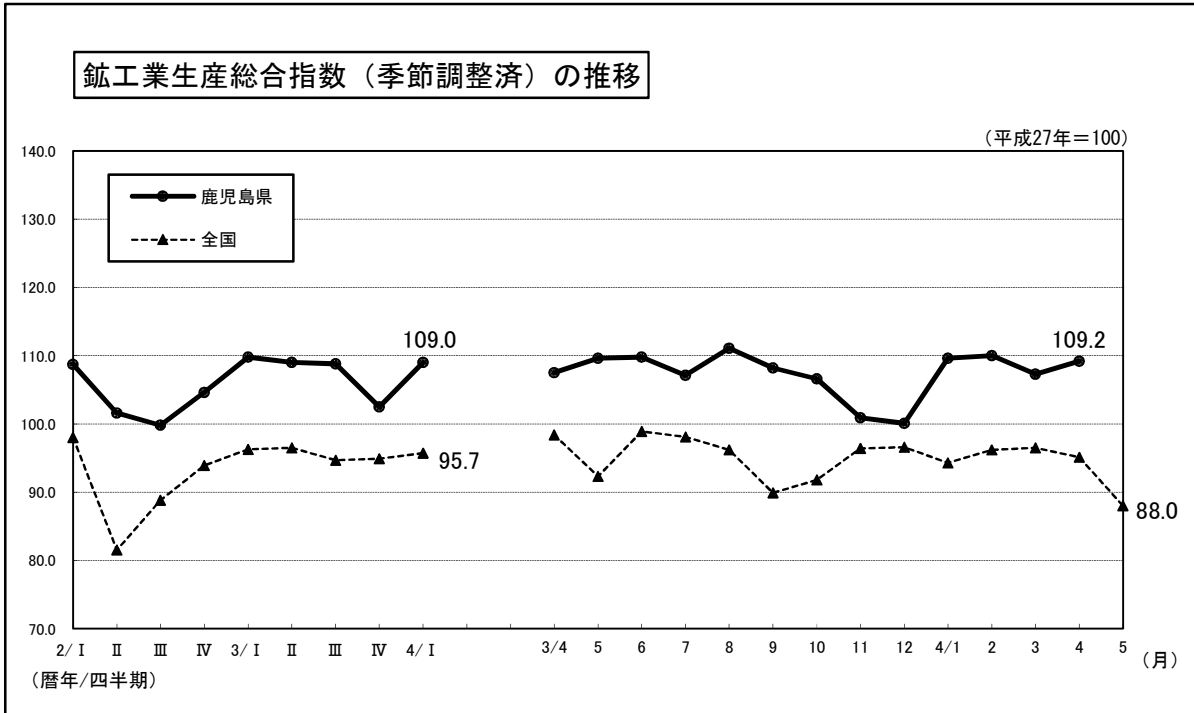
注：四半期の棒グラフは月平均。

(資料：県内主要 16 観光施設)



## 2. 生産活動

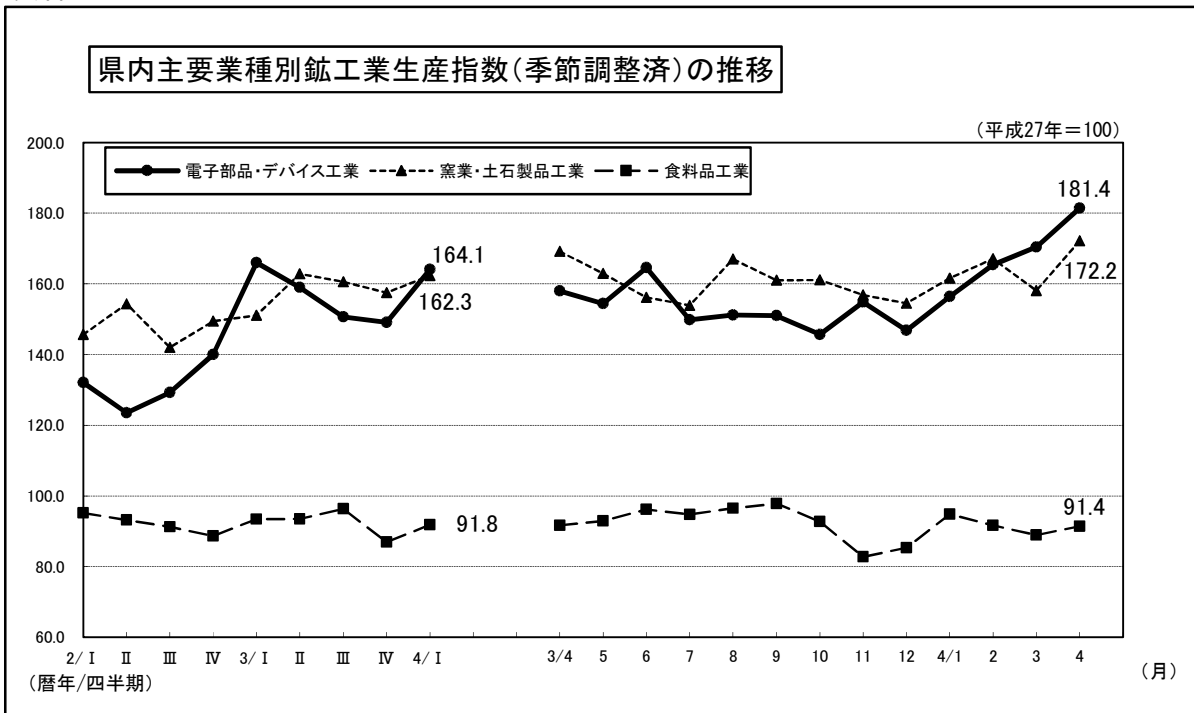
資料 8



注：鹿児島県の4年4月は速報値。

（資料：経済産業省、鹿児島県）

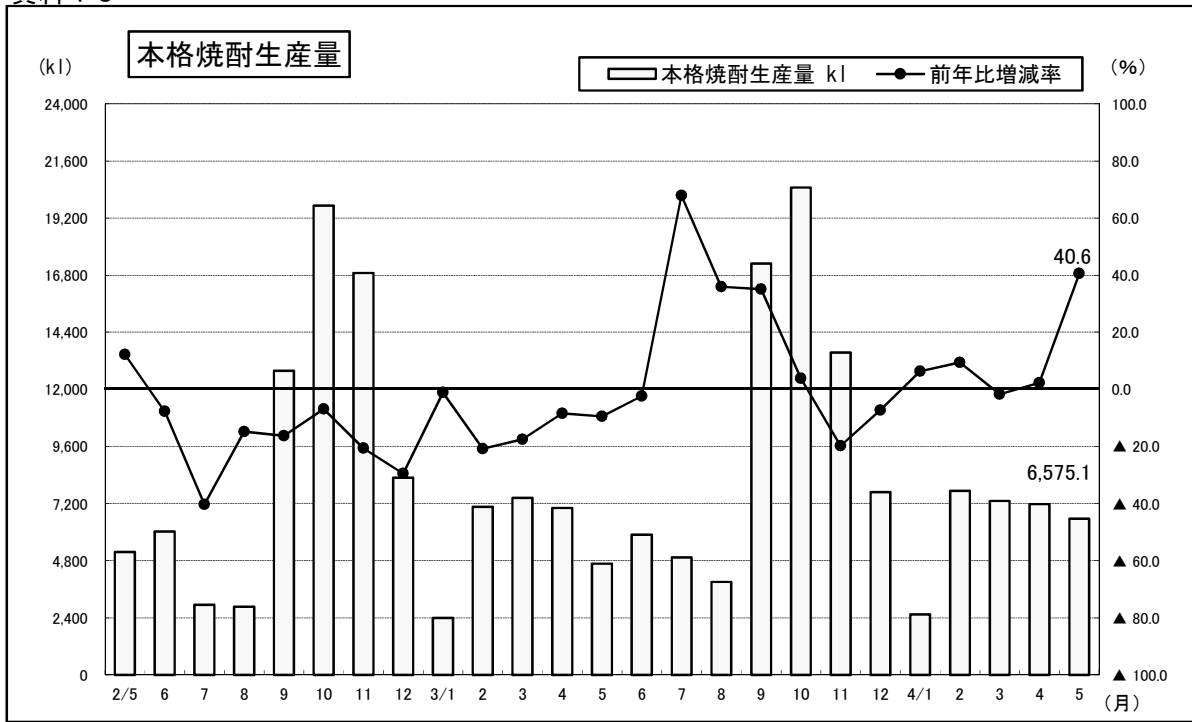
資料 9



注：4年4月は速報値。

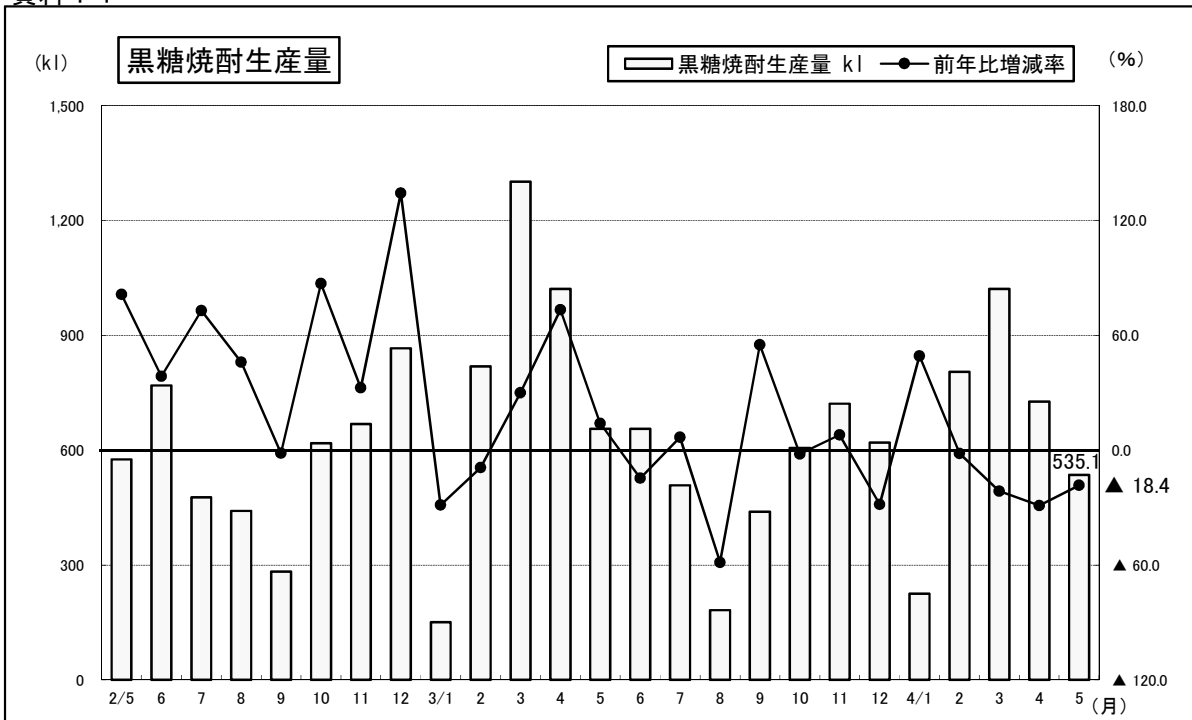
（資料：鹿児島県）

資料 1 0



(資料：鹿児島県酒造組合)

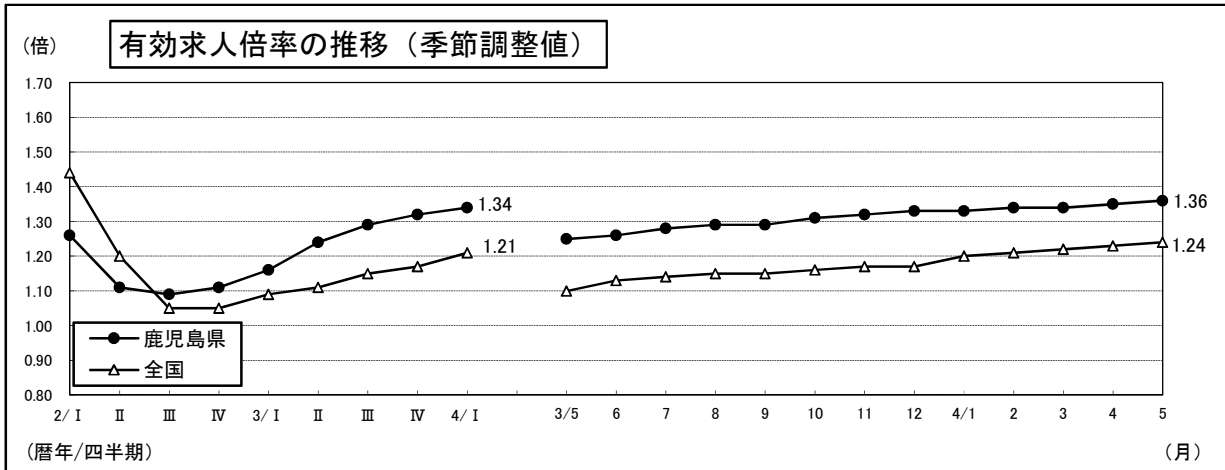
資料 1 1



(資料：鹿児島県酒造組合)

### 3. 雇用情勢

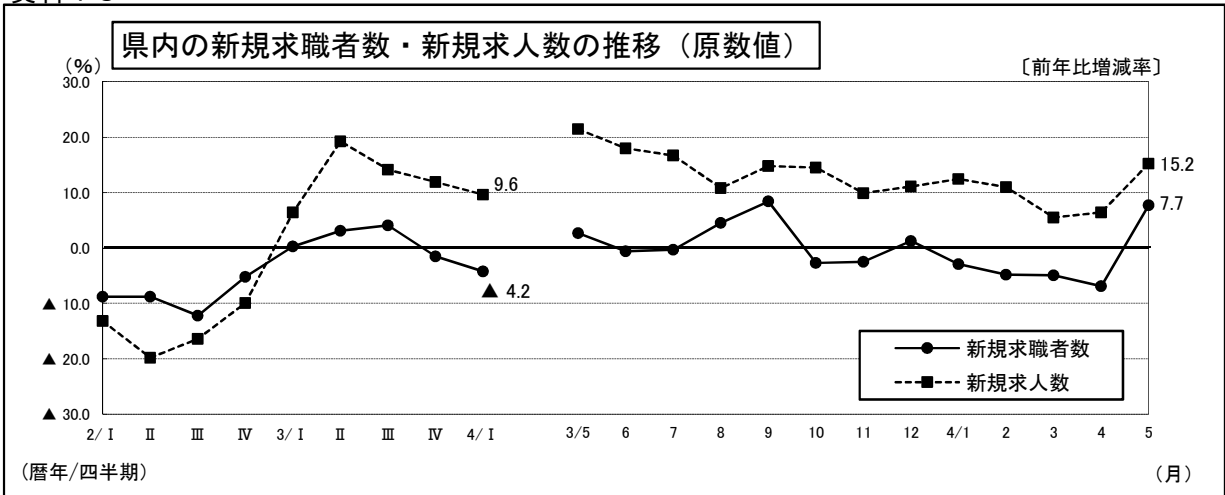
資料 1 2



注：パートを含む。

（資料：厚生労働省）

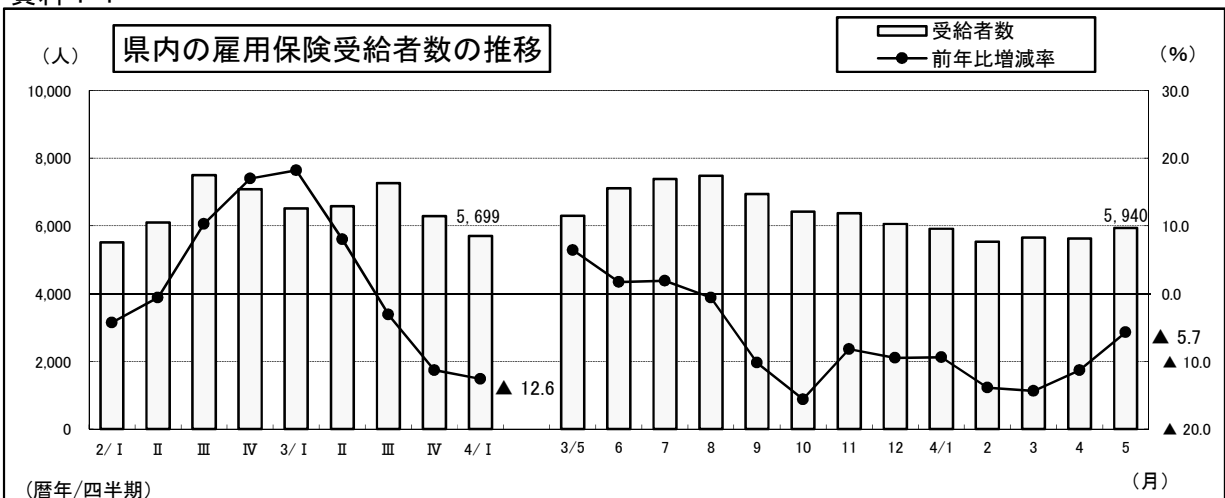
資料 1 3



注：パートを含む。

（資料：厚生労働省）

資料 1 4

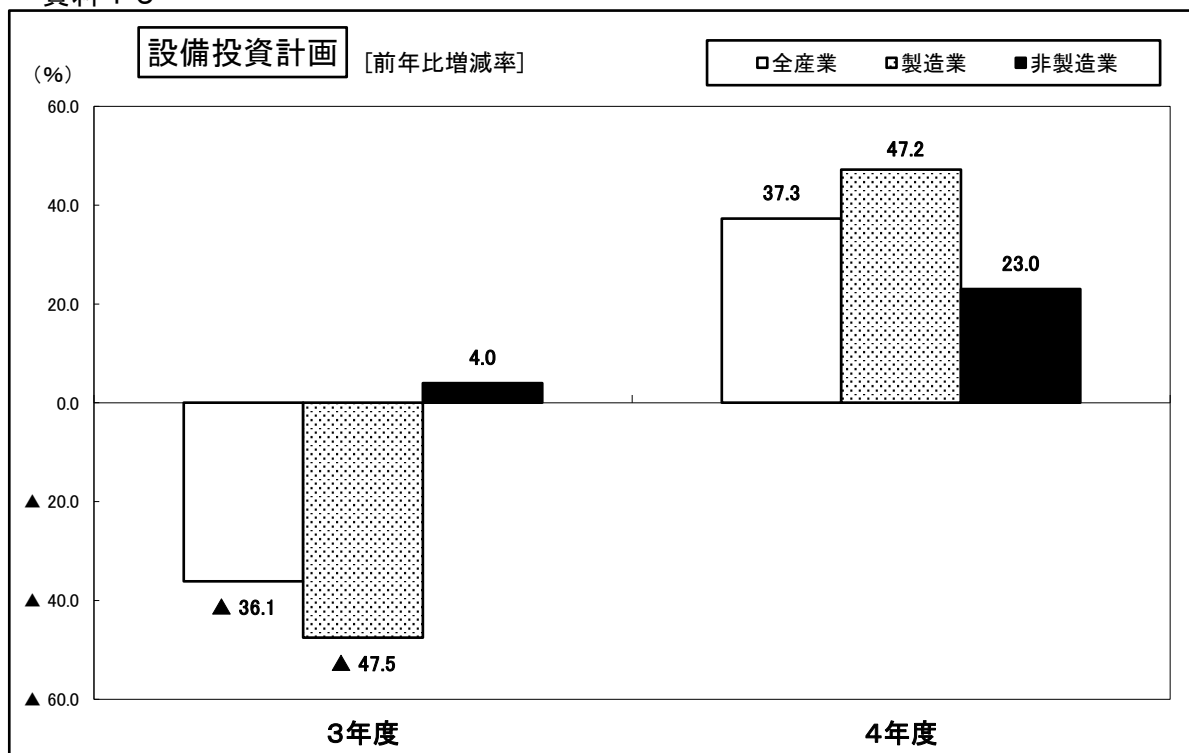


注：四半期の棒グラフは月平均。パートを含む。

（資料：厚生労働省）

## 4. 設備投資

資料 1 5



設備投資[前年比増減率]

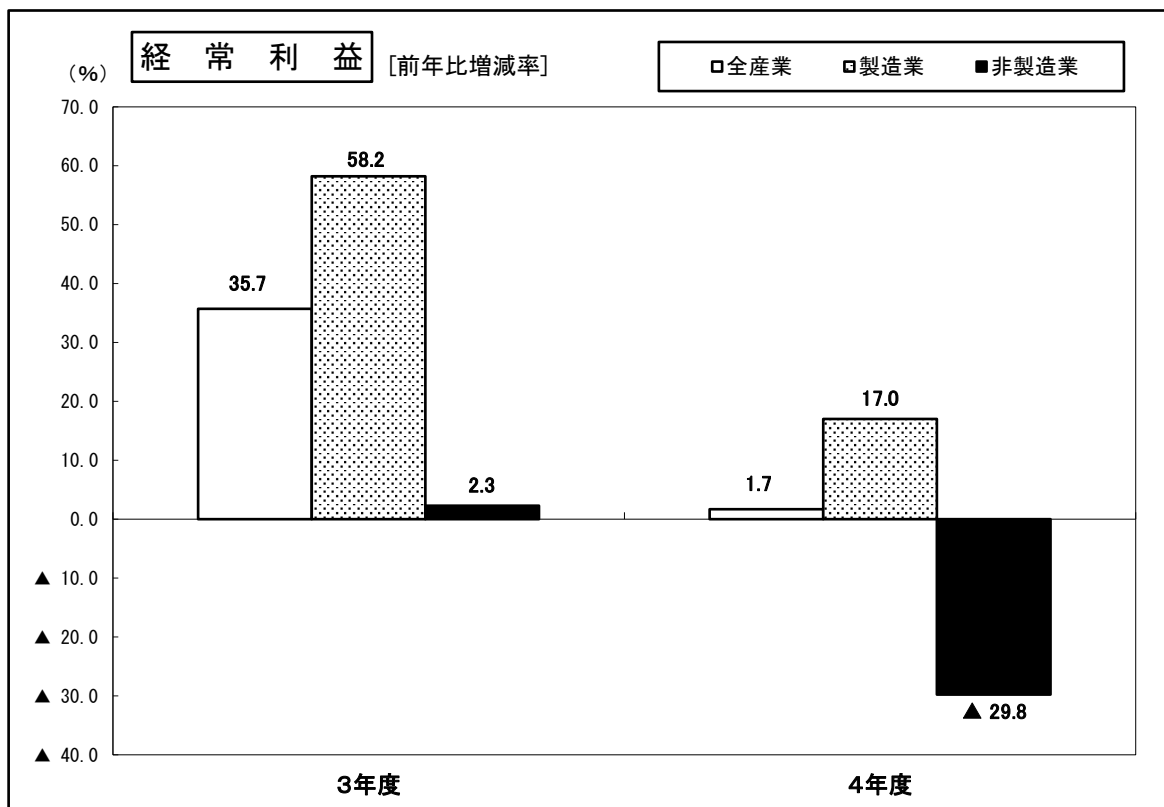
(単位：社、%)

	回答 企業数	3年度	回答 企業数	4年度
全産業	92	▲ 36.1	92	37.3
製造業	20	▲ 47.5	25	47.2
非製造業	72	4.0	67	23.0
大企業	18	▲ 41.6	20	40.8
中堅企業	21	36.1	24	70.6
中小企業	53	3.1	48	▲ 41.4

(資料：鹿児島財務事務所(法人企業景気予測調査))

## 5. 企業収益

資料 1 6



經常利益[前年比増減率]

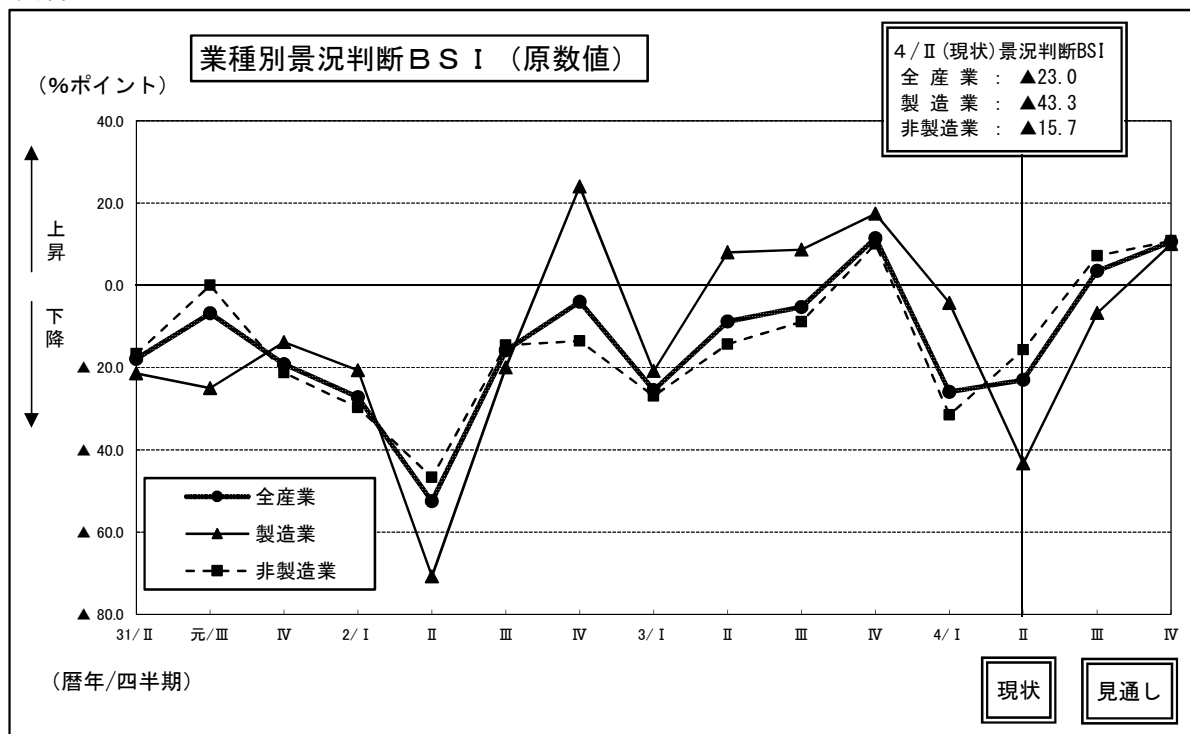
(単位：社、%)

	回 答 企業数	3 年 度	回 答 企業数	4 年 度
全 産 業	80	35.7	81	1.7
製 造 業	19	58.2	24	17.0
非 製 造 業	61	2.3	57	▲ 29.8
大 企 業	11	39.7	13	5.5
中 堅 企 業	18	27.7	21	▲ 29.5
中 小 企 業	51	5.0	47	9.4

(資料：鹿児島財務事務所（法人企業景気予測調査）)

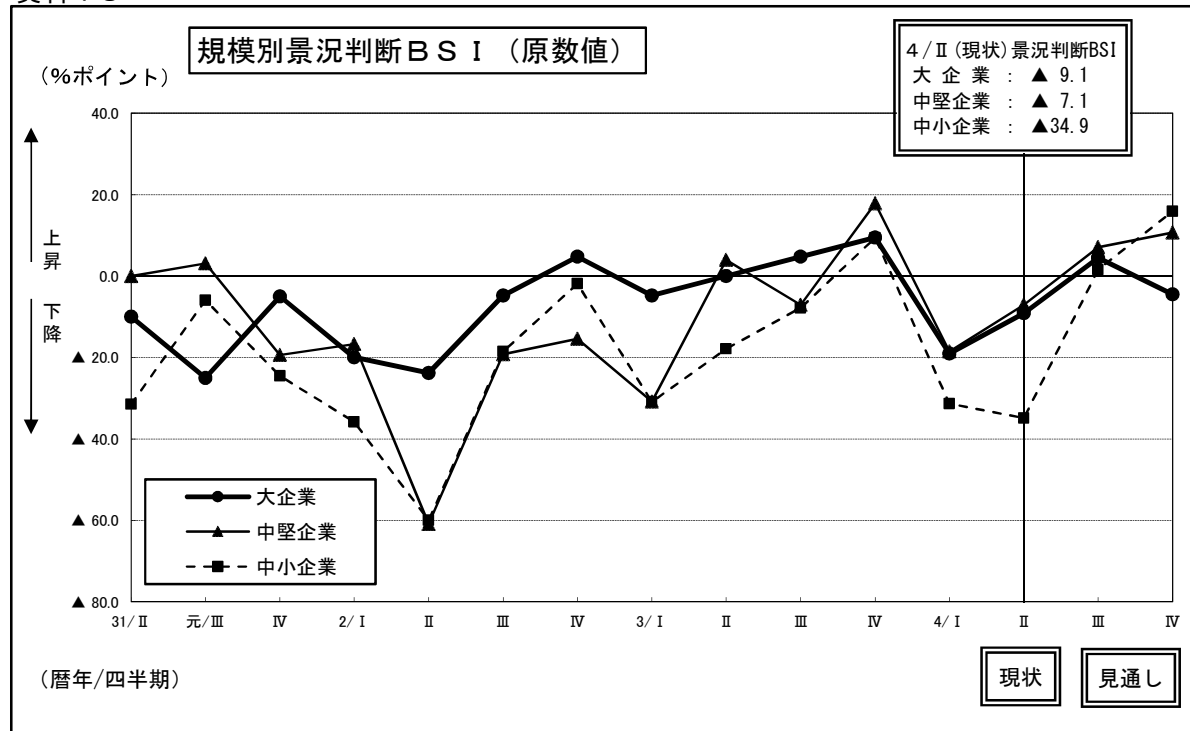
## 6. 企業の景況感

資料 17



(資料：鹿児島財務事務所（法人企業景気予測調査）)

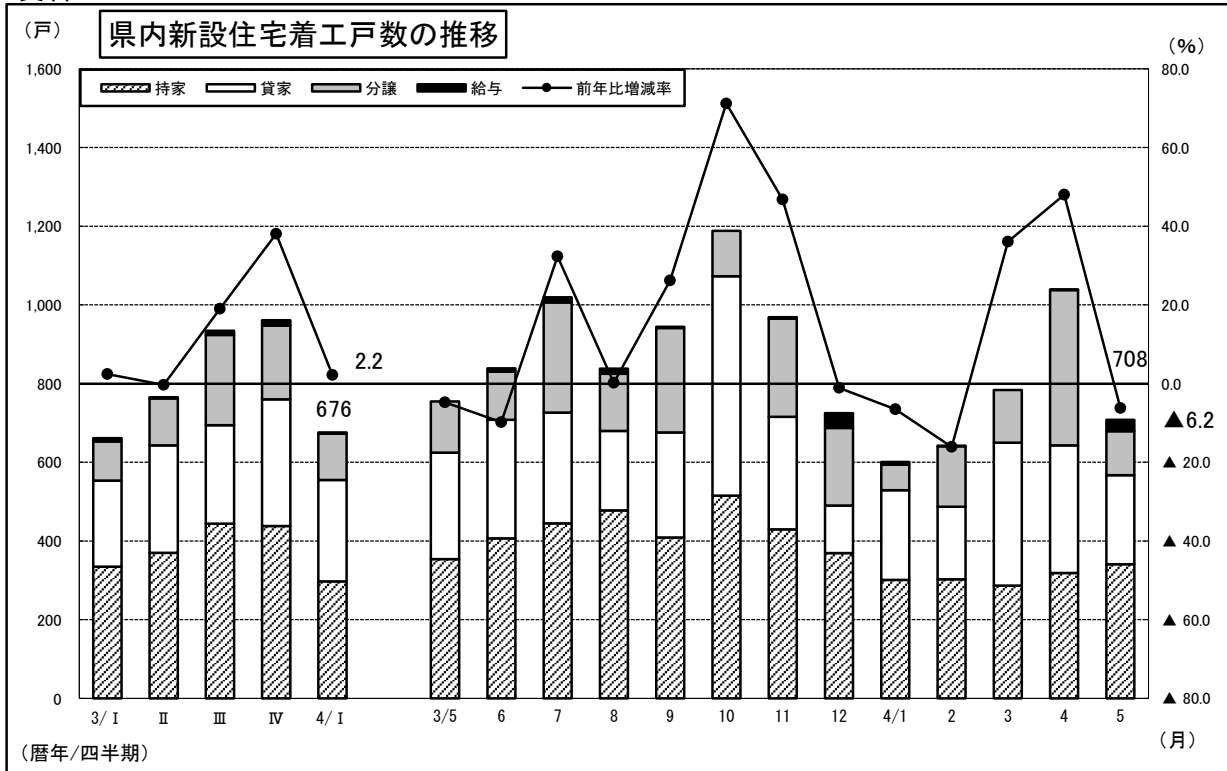
資料 18



(資料：鹿児島財務事務所（法人企業景気予測調査）)

## 7. 住宅建設

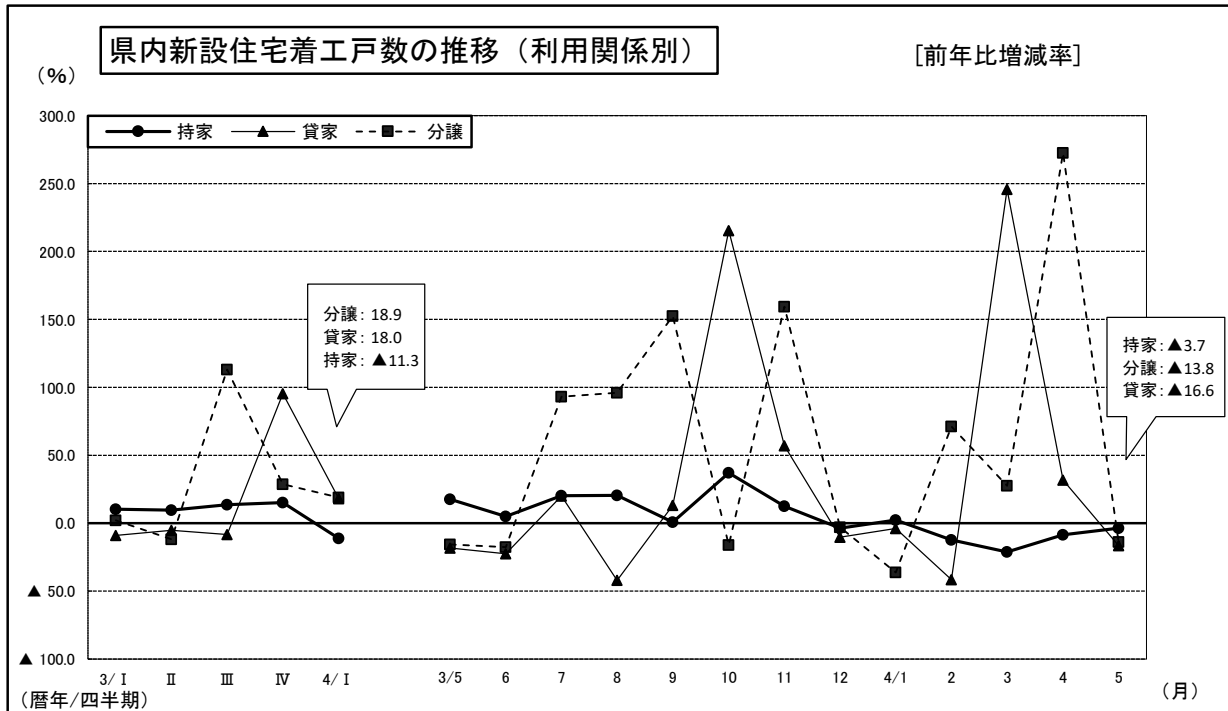
資料 19



注：四半期の棒グラフは月平均。

(資料：国土交通省)

資料 20

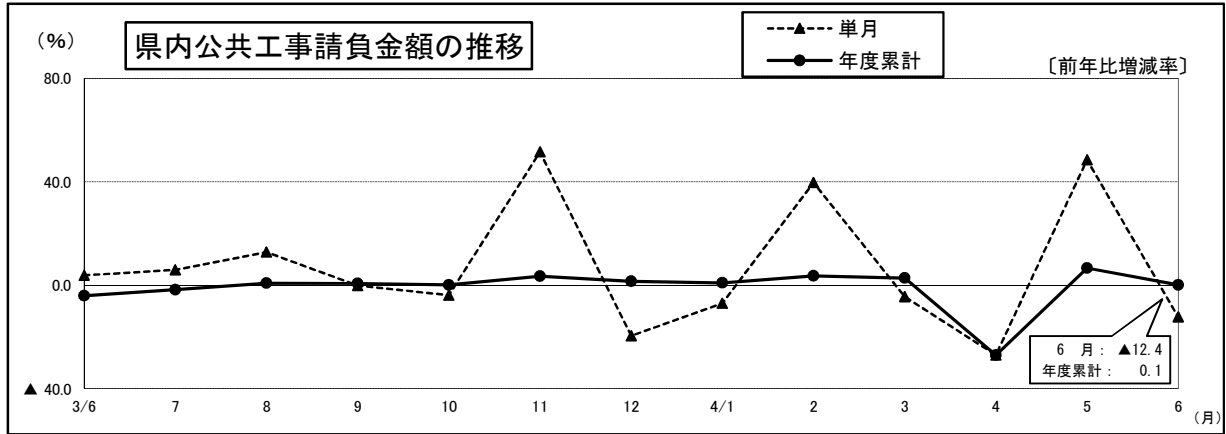


注：給与住宅については、些少であるため表記していない。

(資料：国土交通省)

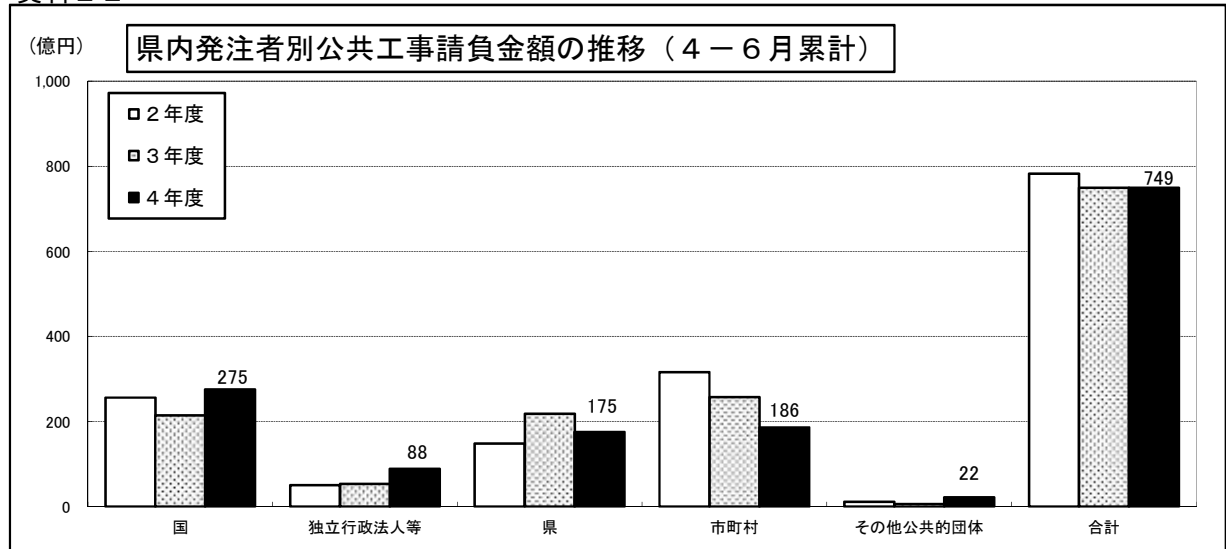
## 8. 公共事業

資料 2 1



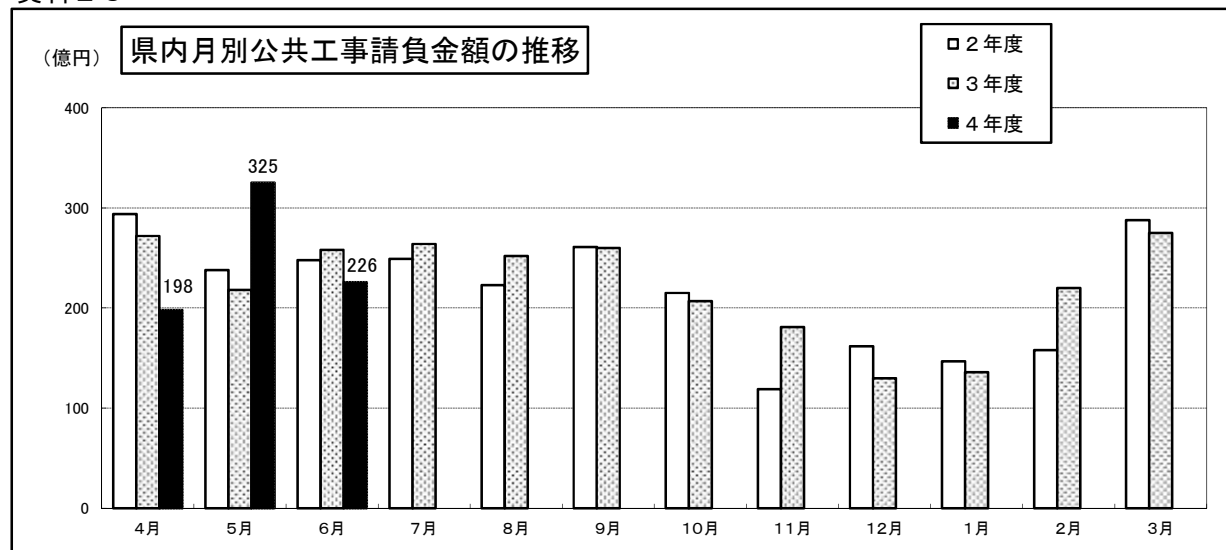
(資料：北海道建設業信用保証㈱、東日本建設業保証㈱、西日本建設業保証㈱)

資料 2 2



(資料：北海道建設業信用保証㈱、東日本建設業保証㈱、西日本建設業保証㈱)

資料 2 3

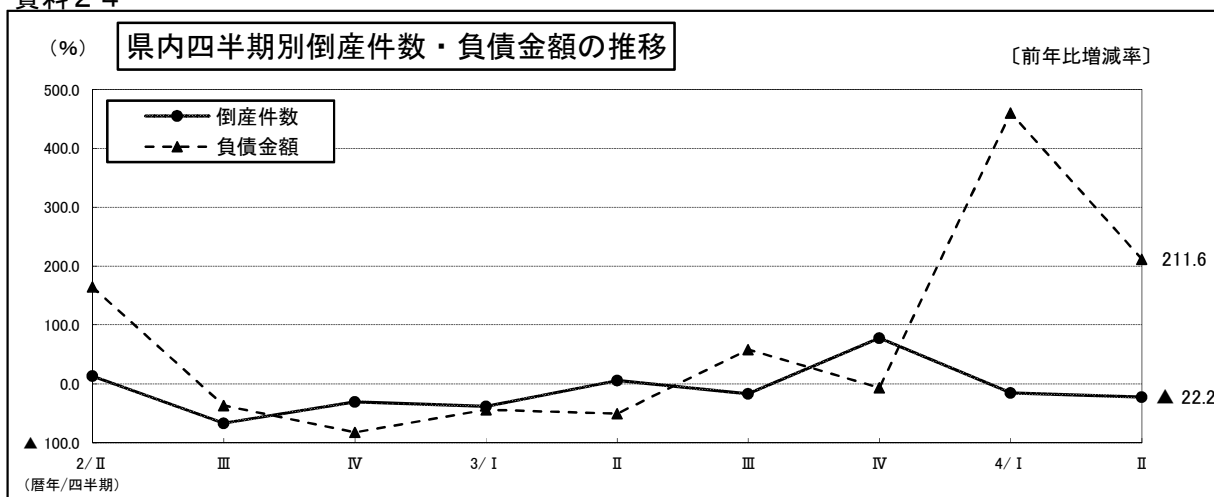


(資料：北海道建設業信用保証㈱、東日本建設業保証㈱、西日本建設業保証㈱)



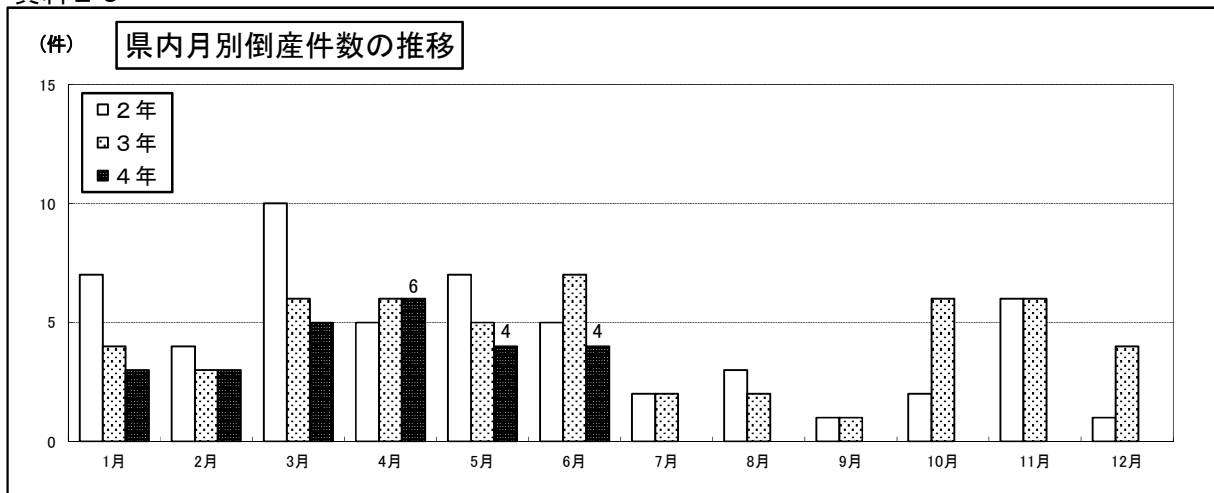
## 9. 倒産

資料 2 4



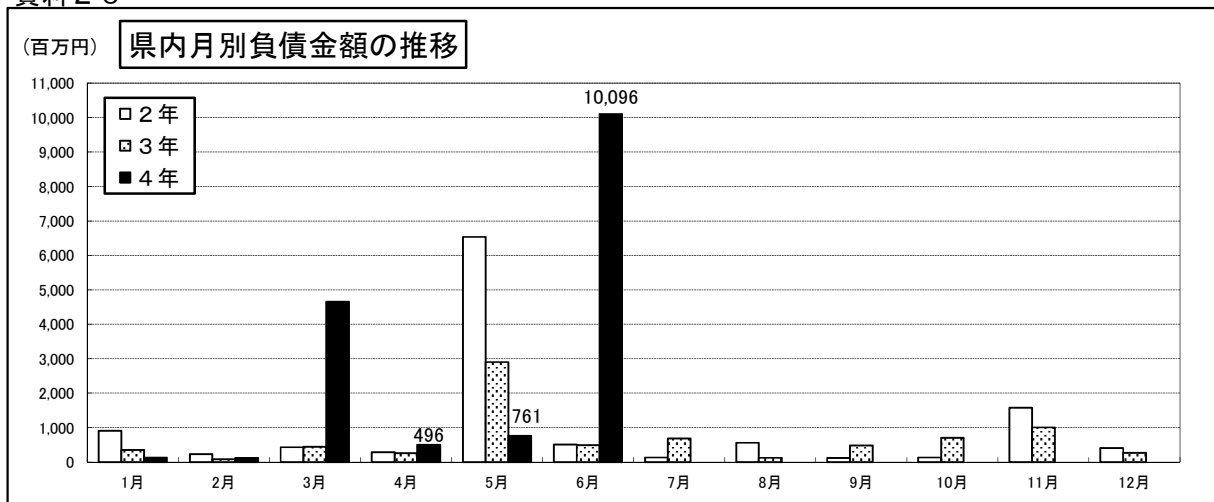
(資料：東京商工リサーチ)

資料 2 5



(資料：東京商工リサーチ)

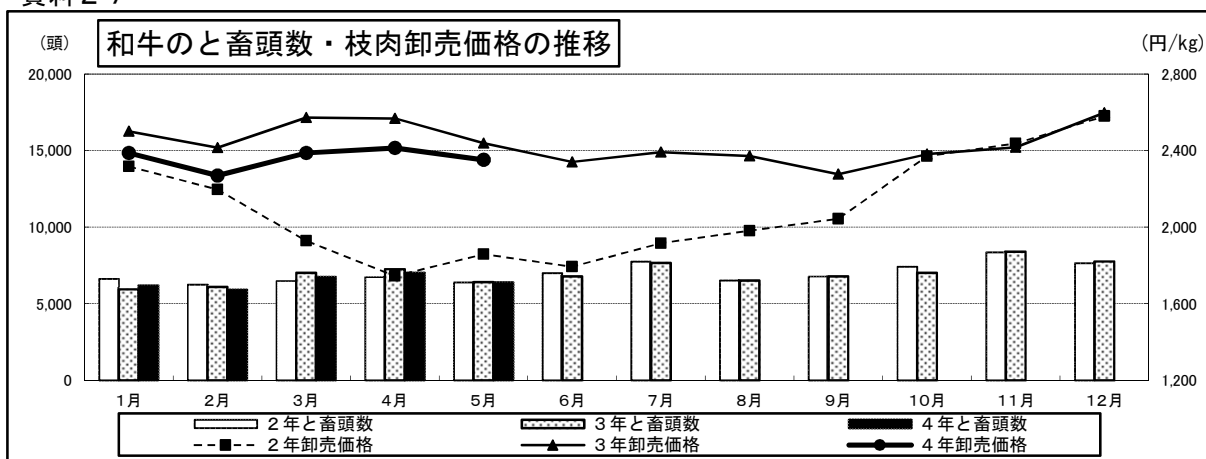
資料 2 6



(資料：東京商工リサーチ)

# 10. 農業（畜産物）

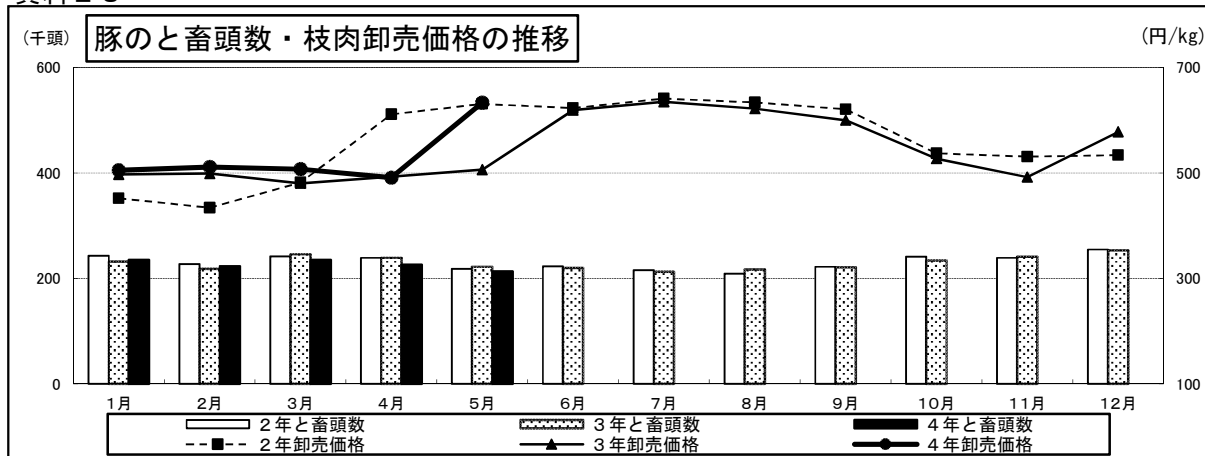
資料 27



注：枝肉卸売価格は、大阪市場去勢和牛A4の加重平均価格。  
3年、4年のと畜頭数は速報値。

（資料：農林水産省）

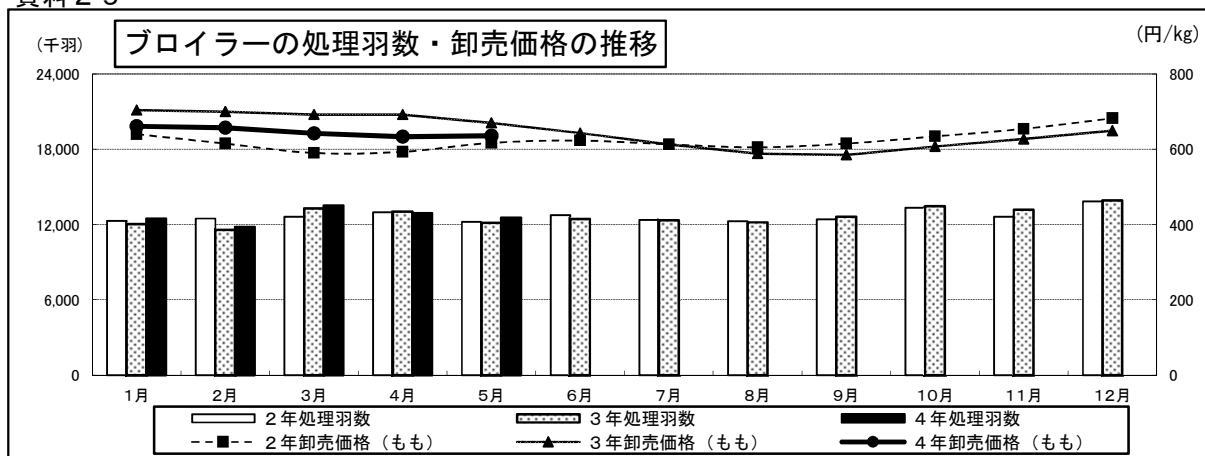
資料 28



注：枝肉卸売価格は、東京市場「上物」の加重平均価格。  
3年、4年のと畜頭数は速報値。

（資料：農林水産省）

資料 29



注：卸売価格は東京中値の価格。

（資料：鹿児島県、独立行政法人農畜産業振興機構）